

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年12月11日～12月15日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
12月11日	4号機スクリーン解体工事の進捗状況確認	4号機タービン建屋東側(4m盤)	○4号機スクリーン解体工事の進捗状況を確認した。確認時には作業は行われておらず、スクリーンの基礎部分を残すのみで、スクリーン本体の解体は終了していた。	11時26分現在
	3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバーの設置状況の確認	3号機原子炉建屋西側	○3号機原子炉建屋燃料取り出し用カバーの設置状況を確認した。確認時にはカバーのつり上げ作業は行われていなかったが、ドーム屋根8ユニット目の北側部材の設置は完了していた。なお、8ユニット目の南側部材は、3号機原子炉建屋西側ヤードでつり上げ治具にセットされていた。カバー全体の4分の3が完成し、順調に設置工事が進められていることを確認した。	
12月12日	1～4号機建屋滞留水の浄化設備の設置状況確認	4号機タービン建屋2階	○1～4号機建屋内滞留水の放射能濃度を低減させるためにセシウム除去装置の処理水の余剰分を直接建屋に注水する配管を敷設していることから、その実施状況及び漏えい防止対策について確認した。4号機タービン建屋2階を確認したところ、建屋内RO設備から処理後のSr処理水配管が伸びており、途中で3号機タービン建屋2階と4号機タービン建屋1階に分岐していた。配管はすべてPE管化されており、保温材で巻かれ、トラフカバーで保護されていた。配管の分岐部には堰及び漏えい検知機が設置されており、漏えい防止対策が実施されていることを確認した。	11時38分現在
12月13日	H4北タンクエリアの汚染土回収作業の状況確認	H4北タンクエリア	○H4北タンクエリアの汚染土回収作業の現況について、現場確認した。土壌回収エリア周囲への鋼矢板の打ち込みが完了しており、土壌回収エリアは全面プラスチック製波板のカバーで覆われていた。調査終了後、当該カバーの目的や今後の作業スケジュールについて、東京電力に確認したところ、カバーは雨水の浸入防止のため設置したものであり、土壌の回収作業は来秋から開始するとのことであった。	12時26分現在
	H4北タンクエリアのタンク設置工事の状況確認	H4北タンクエリア	○H4北タンクエリアのタンクの設置工事の進捗状況を確認した。土壌回収後に設置することとしている3基を除き、32基のタンクが設置されており、一部が供用開始されていた。また、土壌回収エリア廻りを除いて、鉄製仮堰の外側にコンクリート製の内堰が設置されていた。外堰については、エリア北側及び西側が完了し、東側は工事中であった。	
	H4南タンクエリアのタンク設置工事の状況確認	H4南タンクエリア	○H4南タンクエリアのタンクの設置工事の進捗状況を確認した。設置予定の51基中、エリア南東側に11基が設置されていた。当該タンクの周囲には鋼製の仮堰が設置されていたが、移送配管は敷設工事中であった。前回確認時に行っていた地盤改良工事は終了し、基礎地盤の整備やタンクのコンクリート基礎工事が行われていた。	
12月14日	地下水バイパス排水状況の確認	免震重要棟集中監視室 地下水バイパス一時貯留タンク	○地下水バイパス一時貯留タンクからの排水操作に立ち会い、水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。	11時22分現在
	地下水バイパス海水サンプリング状況の確認	地下水バイパス排水口	○地下水バイパス排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。放射性物質の分析結果をクロスチェックするため福島県測定分も含めて5本採取した。	
12月15日	サブドレン処理水排水状況の確認	免震重要棟集中監視室 サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備、バルブユニット	○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会い、水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。	11時36分現在
	サブドレン海水サンプリング状況の確認	5、6号機放水口北側	○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。放射性物質の分析結果をクロスチェックするため福島県測定分も含めて5本採取した。	

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。